

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年（全クラス）
使用教科書	大修館書店 『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店 『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

地域産業を支える人材として、意欲的に職業生活を営むために必要な心身を養うために、

- ① 体力を高めることを継続して進めながら運動技能の習得を目指し、様々な運動の楽しさを味わえるようにする。
- ② 活動を通して仲間と関わり、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てる。
- ③ 学校体操をはじめ授業の準備や片付けを自主的に行い、個々を大切にしながら活動を促進する態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けている。	・ 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、協力する、責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養おうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業での取り組み ・ 課題（学習カード、レポート） ・ 技能評価（テスト、計測） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業での取り組み ・ 課題（学習カード、レポート） ・ 技能評価（テスト、計測） などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業での取り組み ・ 課題（学習カード、レポート） ・ 技能評価（テスト、計測） などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	体まぐしの運動 体づくり運動	リエンテーション	「体育授業について」	・授業における注意事項や確認事項、シラバスの説明、体育当番の業務等の説明	1	・ 取り組みの様子 ・ 取り組みの様子 ・ 体操の順序・動作・声の明確さ ・ 学習カード
5		集団行動	「学校体操」	・集合時の隊形、出欠席の報告、列の増減、方向変換等を確認する ・体力を高める運動を中心に取り組む ・再度、学校体操の留意点に取り組み、全員がしっかりと学校体操に取り組めるようにする	1 6	
		学校体操				
6	陸上競技	陸上アップ	100mハードル 円盤投げ	・再度、様々な主運動の動きの留意点に取り組み、しっかりとウォーミングアップに取り組めるようにする ・ハードルを素早く走り越す方法、インターバルでは7歩又は9歩のリズムを維持し、スタートダッシュやインターバルでの加速のスピードを維持し、ハードルを低くリズムで走り越す技術を昇華する ・基本的な立ち投げやステップといった準備動作を用いて、円盤を遠心力によって投げる技術の習得をする	1 6 6	・ 取り組みの様子 ・ 技能評価(テスト) ・ 取り組みの様子 ・ 記録計測 ・ 学習カード
		ハードル走				
		投擲				
7	球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	バスケットボール サッカー バレーボール 卓球 ソフトボール	・左記の種目から1つを選択し、取り組む	2	・ 取り組みの様子 ・ 学習カード ・ 評価テスト
	体力テスト		「体力テスト記録用紙」	・上体起こし、握力、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、50m走、バドミントン投、20mシャトルランの計測を行う	3	
	体育理論	01 スポーツにおける技能と体力 02 スポーツにおける技術と戦略	『現代高等保健体育』 『現代高等保健体育』		1 1	
8	体まぐしの運動 体づくり運動	中・長距離走	3km 走 4km 走	・体力を高める運動を中心に取り組む ・校舎外周を利用して中・長距離に応じた走り方や呼吸方法、ペースを維持する方法を習得する	2 6	・ 取り組みの様子 ・ 記録計測 ・ 学習カード
9					陸上競技	
10	屋外球技選択	ゴール型	サッカー	・ドリブル、パス、ボールキープ(トラップ)、シュートなどの技術を応用し、ゲームができるようにする ・ショットやサービスを応用し、ゲームができるようにする ・基本的なボール操作や安定したバット操作の技術を習得し、ゲームができるようにする	10	・ 取り組みの様子 ・ 技能評価(テスト) ・ 学習カード
		ネット型	テニス			
		ベースボール型	ソフトボール			
	屋内球技選択 Ⅰ・Ⅱ	ネット型 ゴール型	バレーボール バドミントン 卓球 バスケットボール	・パス、サービス、レシーブ、アタックなどの技術を応用し、三段攻撃を用いたゲームができるようにする ・様々な球種を応用し、それらを組み立てラリーやゲームができるようにする ・ドリブル、パス、ボールキープ(キャッチ)、シュートなどの技術を応用し、ゲームができるようにする	Ⅰ期 10 Ⅱ期 10	・ 取り組みの様子 ・ 技能評価(テスト) ・ 学習カード
11	体育理論	03 技能の上達過程と練習	『現代高等保健体育』	1	・ 取り組みの様子 ・ 学習カード ・ 評価テスト	
12		04 効果的な動きのメカニズム	『現代高等保健体育』	1		
1 2 3	体育理論	05 体力とトレーニング 06 運動やスポーツでの安全の確保	『現代高等保健体育』 『現代高等保健体育』		1 1	・ 取り組みの様子 ・ 学習カード ・ 評価テスト

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 記録計測、技能評価(テスト)、学習カード、評価テスト等を授業時間内で受けられなかった場合は、授業時間外で補習を行います。
- ・ けが等で授業を見学する時は見学用紙を記入します。長期で授業を見学する場合は見学用紙の記載内容を評価します。

8 担当者からの一言

- ・ 時間厳守で、チャイムと同時に授業が始められるように体育館・グラウンドに集合してください。
- ・ 元気な声と整然とした行動で号令・挨拶・点呼ができるようにしてください。
- ・ 実技であるので、出席を重視します。できるだけ欠席・見学をしないように努力してください。